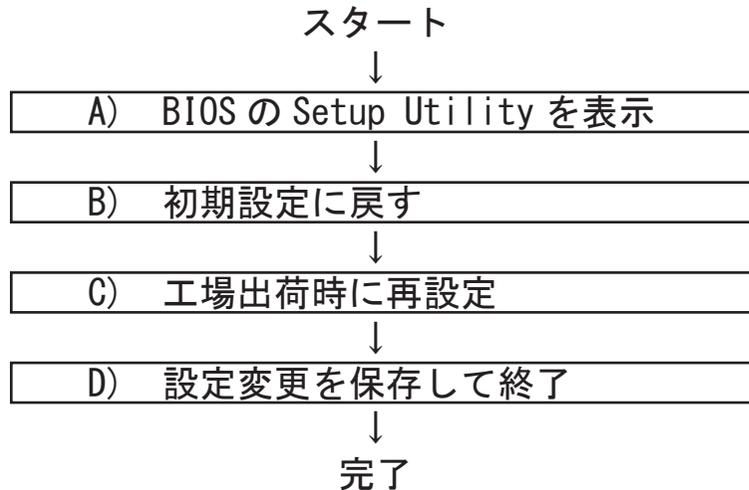


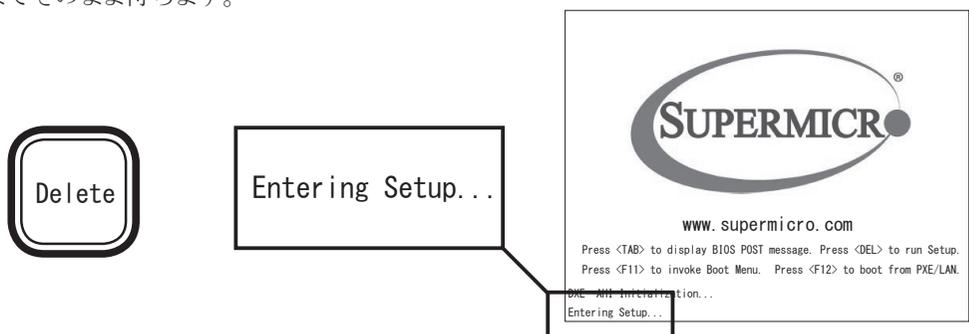
BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) BIOS の Setup Utility を表示します。

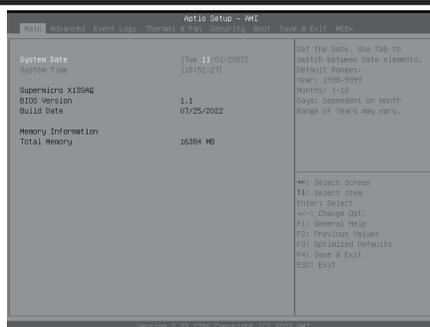
電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。[Delete] キーにより、画面左下に「Entering Setup...」と表示されます。BIOS 設定画面（Aptio Setup Utility）が表示されるまでそのまま待ちます。



ご注意

押すタイミングによっては Setup Utility が表示されない場合があります。その場合はいったん本製品をリセットして Setup Utility の表示を試みてください。OS が起動した場合は OS の再起動をし、Setup Utility 表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。



ご注意

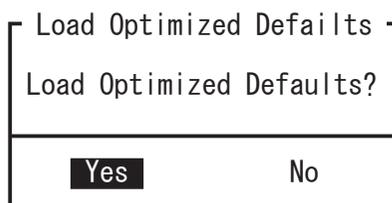
BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けられない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Save & Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Load Optimized Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が初期設定に戻ります。初期設定後、手動による設定が必要です。



C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。

本文中 ▶ 印の部分は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字が設定項目です。

【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。

【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
System Date							
System Time							
Supermicro X13SAQ							
BIOS Version			X.X				※ 1
Build Date			MM/DD/YYYY				
Memory Information							
Total Memory			XXXX MB				※ 2

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Boot Features】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
Fast Boot					[Disabled]		
Quiet Boot					[Enabled]		
Option ROM Messages					[Force BIOS]		
Bootup NumLock State					[On]		
Wait For "F1" If Error					[Enabled]		
Re-try Boot					[Disabled]		
Power Configuration							
Watch Dog Function					[Disabled]		
AC Loss Policy Depend On					[Last State]		※ 3
Power Button Function					[Instant Off]		
DeepSx Power Policies					[Disabled]		

※ 3: 電源投入方法の設定

- [Stay Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカなどで電源投入することができます。
- [Last State] Stay Off と Power On のどちらの状態も有しており、電源切断方法に応じて、次回の電源投入方法が決まります。



ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、正しいシャットダウンを行ってください。以降、変更した電源投入方法が機能します。

【Advanced > CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
CPU Configuration							
12th Gen Intel(R) Core(TM) i7-12700							
.							
.							
.							
} ※ 4							
Active Performance-cores							[All]
Active Efficient-cores							[All]
Hyper-Threading							[Enabled]
AES							[Enabled]
Boot Performance Mode							[Max Non-Turbo Performance]
Intel(R) SpeedStep(tm)							[Enabled]
Intel(R) Speed Shift Technology							[Enabled]
Turbo Mode							[Enabled]
Power Limit 1 Override							[Disabled]
Power Limit 2 Override							[Enabled]
Power Limit 2							0
C-States							[Disabled]
MonitorMWait							[Enabled]

※ 4: カスタム仕様により表示が異なります。



ご注意

・CPU機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

・インテル第12世代プロセッサファミリーでは、Performance CoreとEfficient Coreを持つCPUがあります。Efficient Coreの存在により一部のアプリケーションにおいては正しく動作しない場合があります。その場合は、「Active Efficient-cores」を[0]に設定することで問題を回避できる場合があります。

【Advanced > Chipset Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
WARNING: Setting wrong values below sections may cause system to malfunction.							
▶ System Agent (SA) Configuration							
System Agent (SA) Configuration							
VT-d		Supported					
▶ Memory Configuration							
▶ Graphics Configuration							
▶ DMI/OPI Configuration							
▶ PEG Port Configuration ※ 5							
▶ GT - Power Management Control							
VT-d		[Enabled]					
GNA Device (B0:D8:F0)		[Disabled]					
▶ PCH-I/O Configuration							
PCH-I/O Configuration							
PCH SKU		Q670E					
Stepping		xx					
▶ PCI Express Configuration ※ 6							
Frontside Audio Mode		[HD Audio]					

※ 5: PCI Express 5.0 x16 及び M.2 M-Key PCI Express 4.0 x4 スロットの設定

※ 6: PCI Express 4.0 x4 / 3.0 x4 / 3.0 x2 スロットの設定

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。例えば「Max Link Speed」項や「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた1レーン当たりの最大転送レートを設定する項目です。

[Auto] 以下の転送レートから自動設定します。

[Gen4] 16.0GT/s を上限に設定します。

[Gen3] 8.0GT/s を上限に設定します。

[Gen2] 5.0GT/s を上限に設定します。

[Gen1] 2.5GT/s を上限に設定します。

【Advanced > PCIe/PCI/PnP Configuration】メニューにも整合性や調整を行う項目があります。

【Advanced > SATA And RST Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
SATA Controller(s)							[Enabled]
Storage Option ROM/UEFI Driver							[EFI]
Aggressive LPM Support							[Enabled]
SATA0							HDD/SSD Model Name (XXXX.XGB)
Software Preserve							SUPPORTED
Hot Plug							[Enabeld]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive] ※ 7
SATA1							DVD Model Name
Software Preserve							N/A
Hot Plug							[Enabeld]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive]
.							.
.							.
.							.
SATA7							Empty ※ 8
Software Preserve							Unkown
Hot Plug							[Enabeld]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive]

※ 7: SSDをお使いの場合は [Solid State Drive] に設定します。以降 SATA5 まで、カスタム仕様に合わせて設定します。

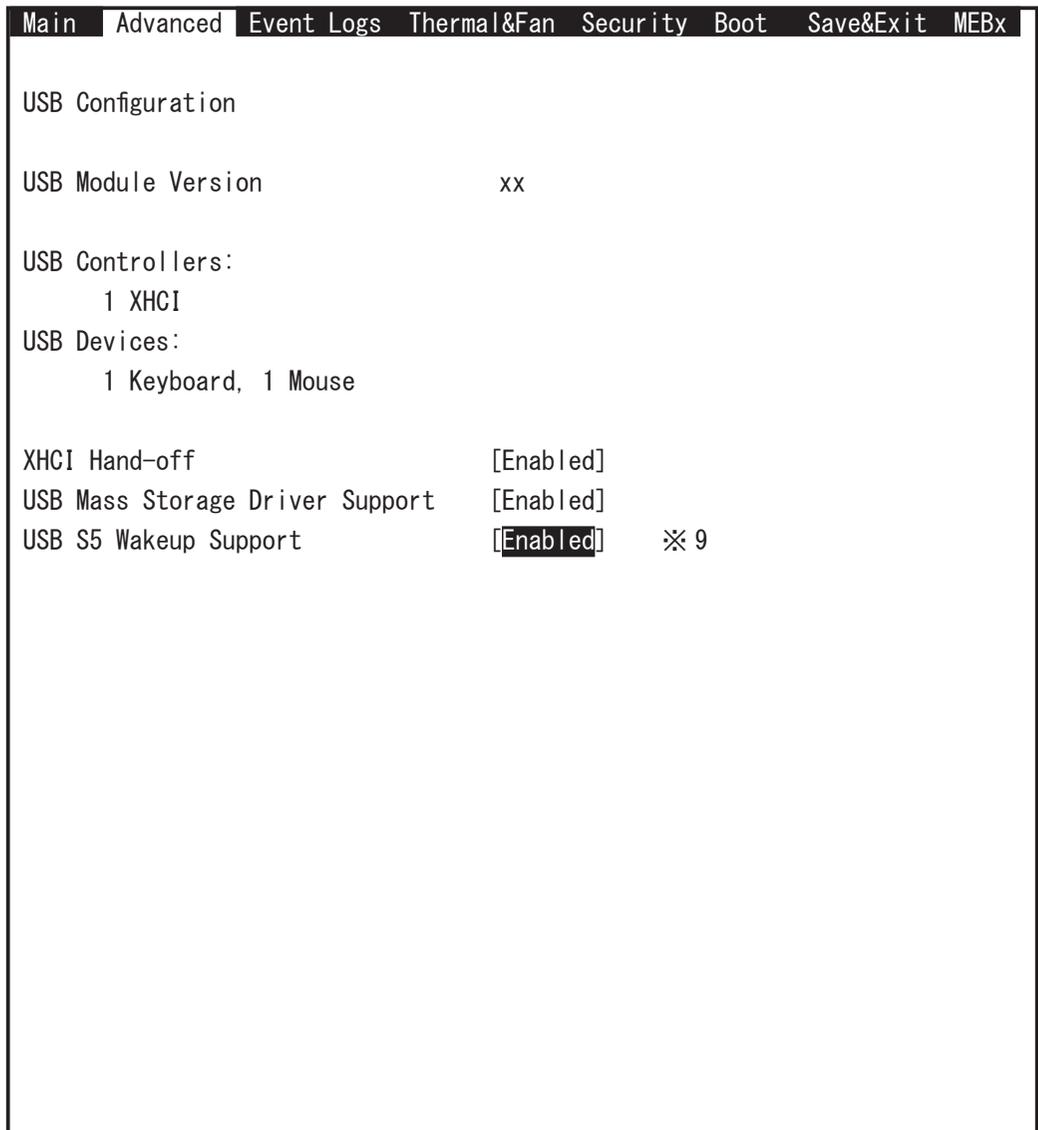
※ 8: SATAドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。



ご注意

(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、【SATA And RST Configuration】メニューには表示されません。

【Advanced > USB Configuration】メニューの設定

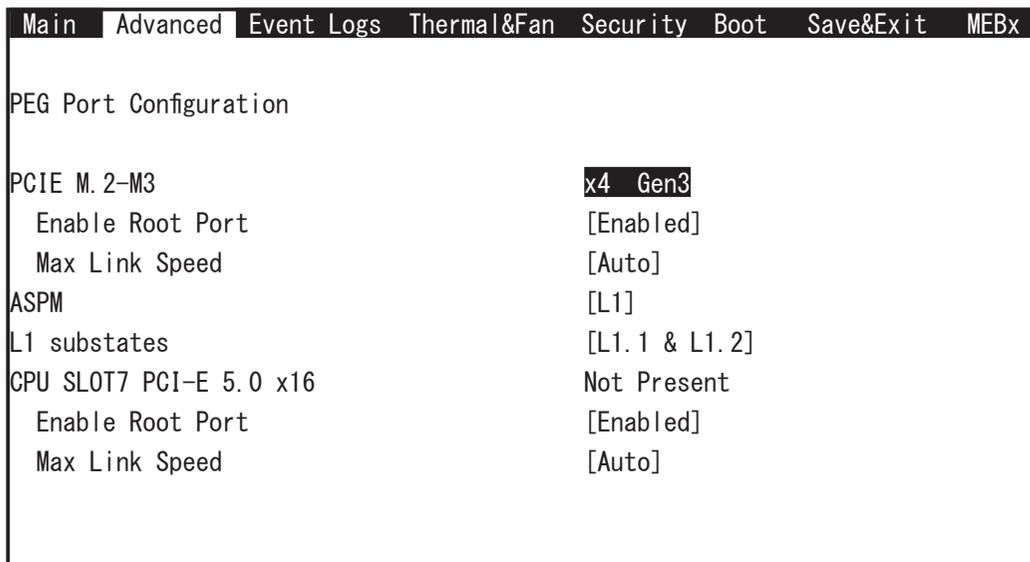


- ※ 9: Windows をシャットダウンした状態から、USB 2.0 ポートに接続した USB キーボードや USB マウスの操作で本製品の電源を ON (入) する機能について、有効化 / 無効化を設定可能です。

【Advanced > Chipset Configuration > System Agent (SA) Configuration
> PEG Port Configuration】メニュー

M.2 M-Key PCI Express 4.0 x4 スロットに M.2 SSD を装着している場合、
PCIe M.2-C の項目にて接続状態を確認できます。

接続されている場合 : x* Gen* (例 : x4 Gen3)
接続されていない場合 : Not Present



【Boot】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
Fixed Boot Order Priorities							
Boot Option #1		[UEFI CD/DVD]					
Boot Option #2		[UEFI Hard Disk:Windows Boot Manager]				※ 10	
Boot Option #3		[UEFI USB Key]					
Boot Option #4		[XXXX]					
.							
.							
.							
Boot Option #9		[XXXX]					
▶ Add New Boot Option							
▶ Delete Boot Option							
▶ UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities						※ 11	
▶ UEFI USB Key Drive BBS Priorities							
▶ UEFI NETWORK Drive BBS Priorities							
▶ UEFI Application Boot Priorities							

※ 10: 起動ドライブの優先順位を設定します。

※ 11: ※ 10 の選択肢に「UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項を設定してから※ 10 を設定してください。
本項を選択し、「Windows Boot Manager」を選択します。



ご注意

- USB 接続の外付け CD/DVDドライブの場合は表示名の行頭に「USB」が、UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「UEFI USB」が、付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
 - カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。
-

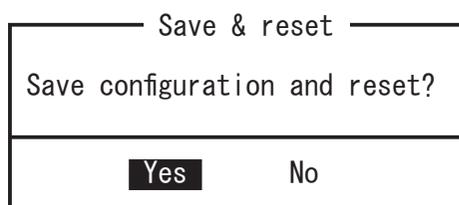
D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Save & Exit」タブを選択します。

「Save Changes And Reset」を選択し、[Enter]キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して[Enter]キーを押します。

設定内容が保存され再起動します。



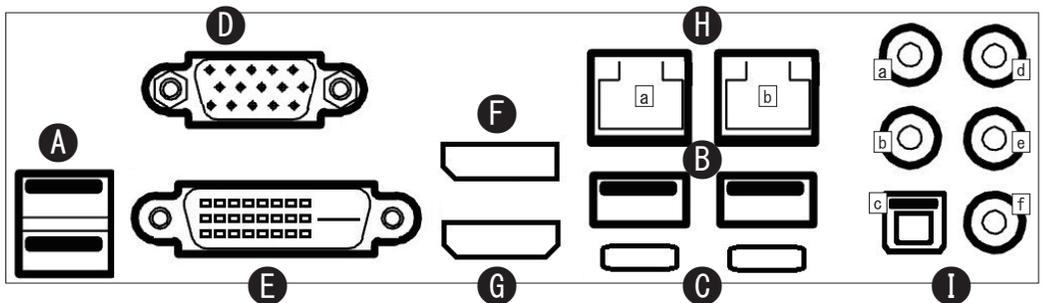
ご注意

「Discard Changes And Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

ユーザーズマニュアル補足

S64 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ

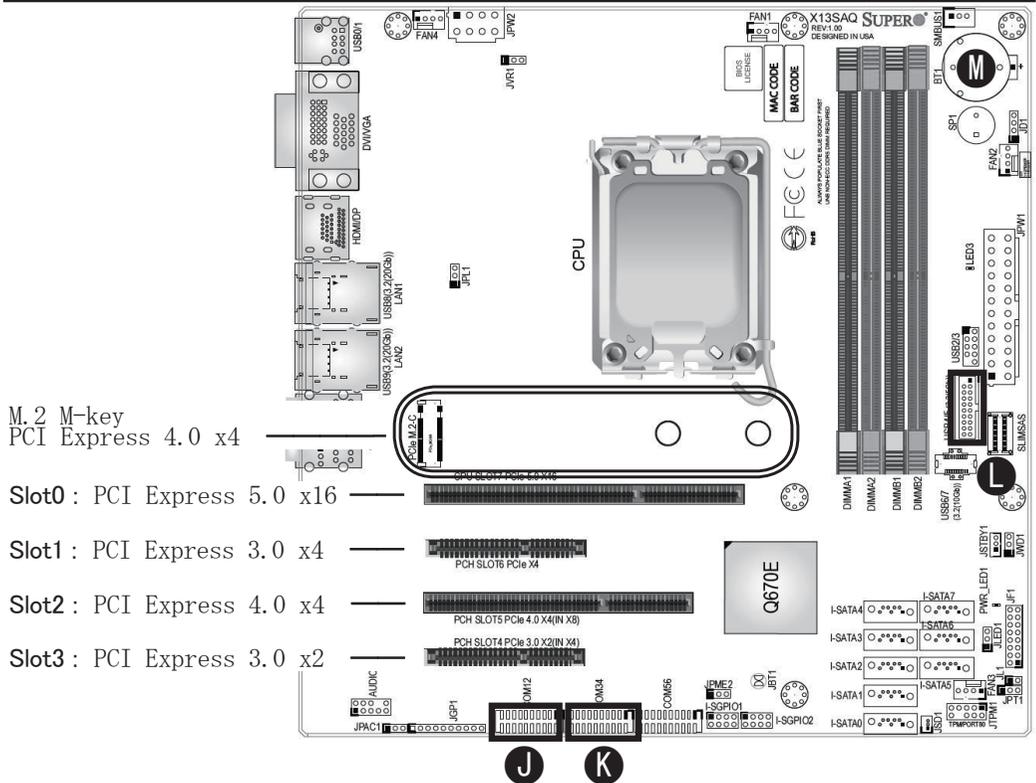


- A: USB 2.0 High-Speed (Type-A) 2 ポート
USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。
- B: USB 10Gbps (Type-A) 2 ポート
USB 10Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。
- C: USB 20Gbps (Type-C) 2 ポート
USB 20Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。 *1
- D: VGA ポート VGA モニターを接続できます。 *2
- E: DVI-D ポート DVI-D モニターを接続できます。 *2
- F: Displayport (1.4a) Displayport モニターを接続できます。 *2
- G: HDMI (2.0b) ポート HDMI モニターを接続できます。 *2
- H: LAN (100/1000/2500 Mbit/sec) 2 ポート
 • a : Intel(R) I225-LM • b : Intel(R) I225-LM
- I: オーディオ機器を接続できます。
 • a : Center/LFE Out • d : Line In
 • b : Surround Out • e : Line Out
 • c : SPDIF Out • f : Mic In

*1: USB PD (USB パワーデリバリー)、Alternate Mode (オルタネートモード) には対応しません。

*2: 同時使用は上限 4 ポートまで可能です。

3. 内部のシリアル COM ポートコネクタと拡張スロット



M.2 M-key
PCI Express 4.0 x4

Slot0 : PCI Express 5.0 x16

Slot1 : PCI Express 3.0 x4

Slot2 : PCI Express 4.0 x4

Slot3 : PCI Express 3.0 x2

J : Serial port (COM1/COM2)

K : Serial port (COM3/COM4)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

いずれも、カスタム仕様によっては使用済みです。

L : USB 5Gbps

USB 5Gbps ポートケーブルを接続できます。

いずれも、カスタム仕様によっては使用済みです。

M : 電池ホルダー リチウム電池が装着済みです。

コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。

リチウムイオン電池 (二次電池) ではなく、充電することはできません。



ご注意

- M.2 M-key PCI Express 4.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。搭載可能サイズは 2280/22110 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリーする場合は光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。
- J コネクタと K コネクタは、同じ形状、同じ機能です。
L コネクタと形状が似ていますので、接続間違いにご注意ください。
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) 搭載時には拡張スロットを使用します。使用スロット数は、カスタム仕様により異なります。

安全にお使いいただくために

1) メモリーモジュールの転送速度

1-1) 搭載 CPU や装着しているメモリーモジュールの構成によって、データ転送速度が変わる場合があります。

1-2) 本製品は、上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR5-4800/4400 SDRAM DIMM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

2) LAN ポート

2-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



2-2) Wake on LAN

Wake on LAN 機能を使用する場合、BIOS 設定は不要です。Windows にプリインストールされている「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」(管理者権限で実行) で Wake on LAN を有効に設定します。加えて、Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。設定後、Windows を正しくシャットダウンすることで準備が整います。設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウンすることで、再び準備が整います。

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」において、該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これは「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」の仕様であり、本製品の使用上の制限です。